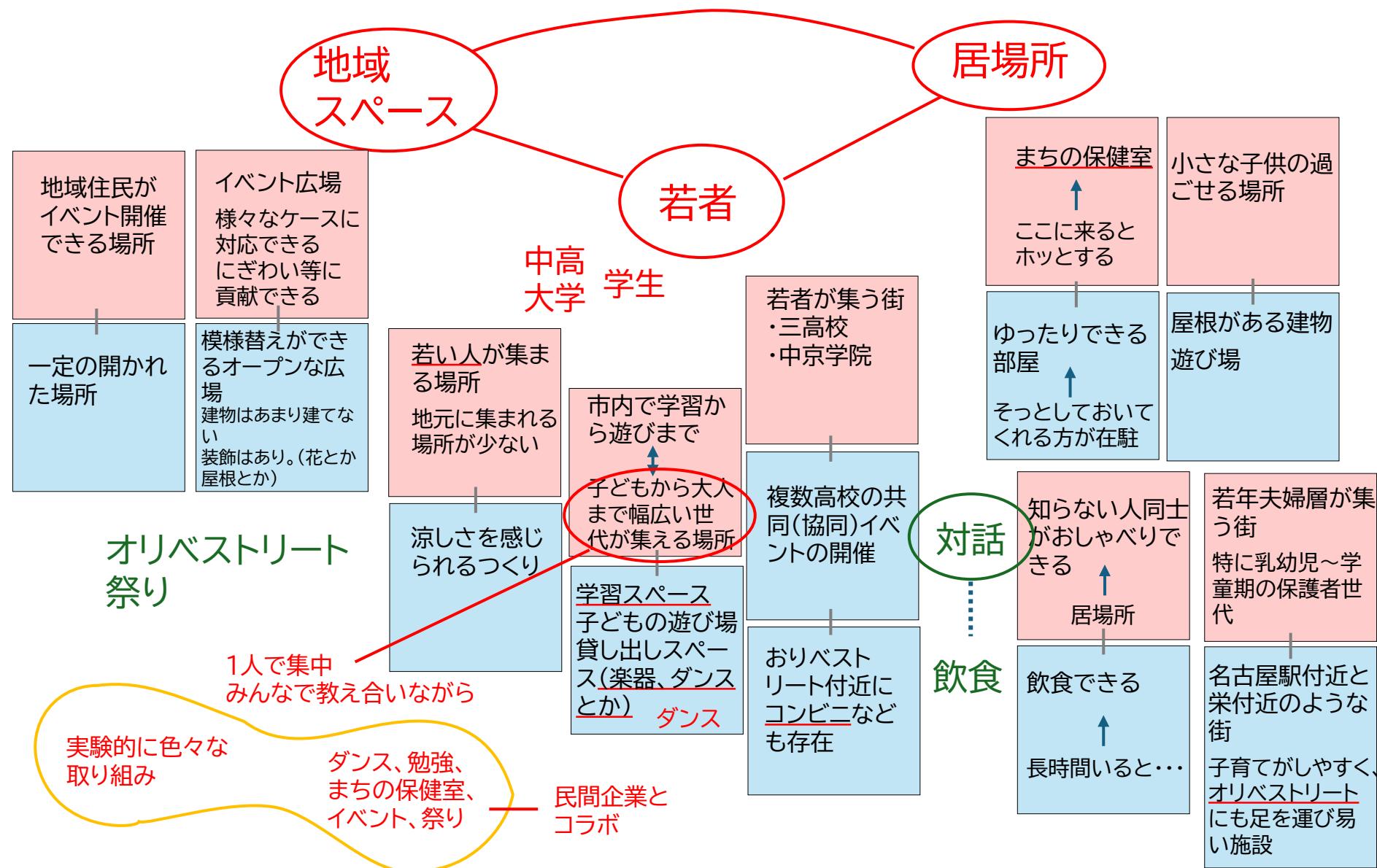


キーワード:若者・地域スペース・居場所

「若者」をキーワードに、高校生や大学生、若年夫婦層などが気軽に集える“居場所”的必要性について話し合いました。学習や音楽、ダンスができる施設のほか、地域イベントとの連携も視野に入れ、市役所跡地とオリベストリートを一体的に活用するアイデアが出ました。

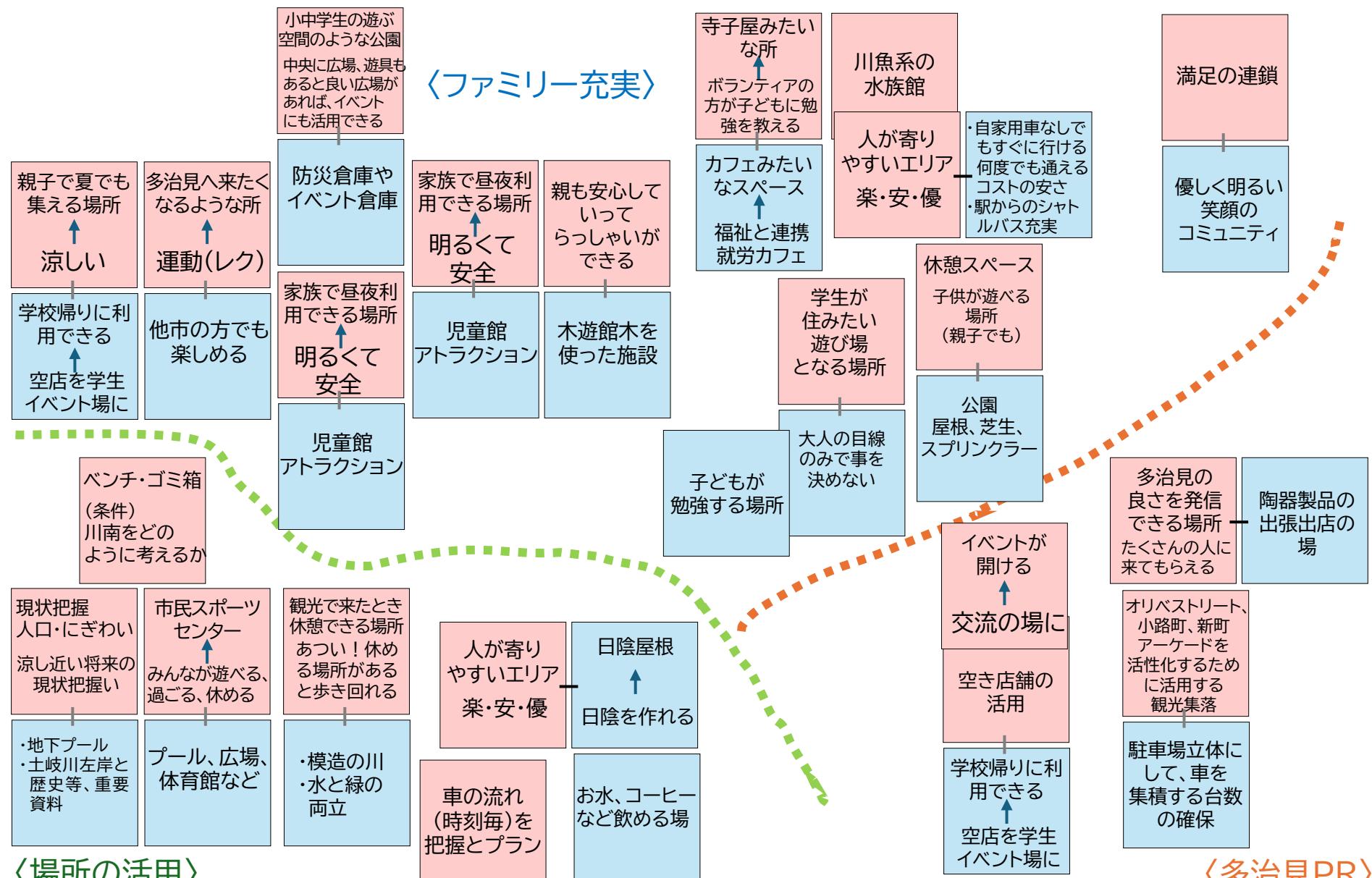
Aグループ



Bグループ

キーワード: ファミリー充実・場所の活用・多治見のPR

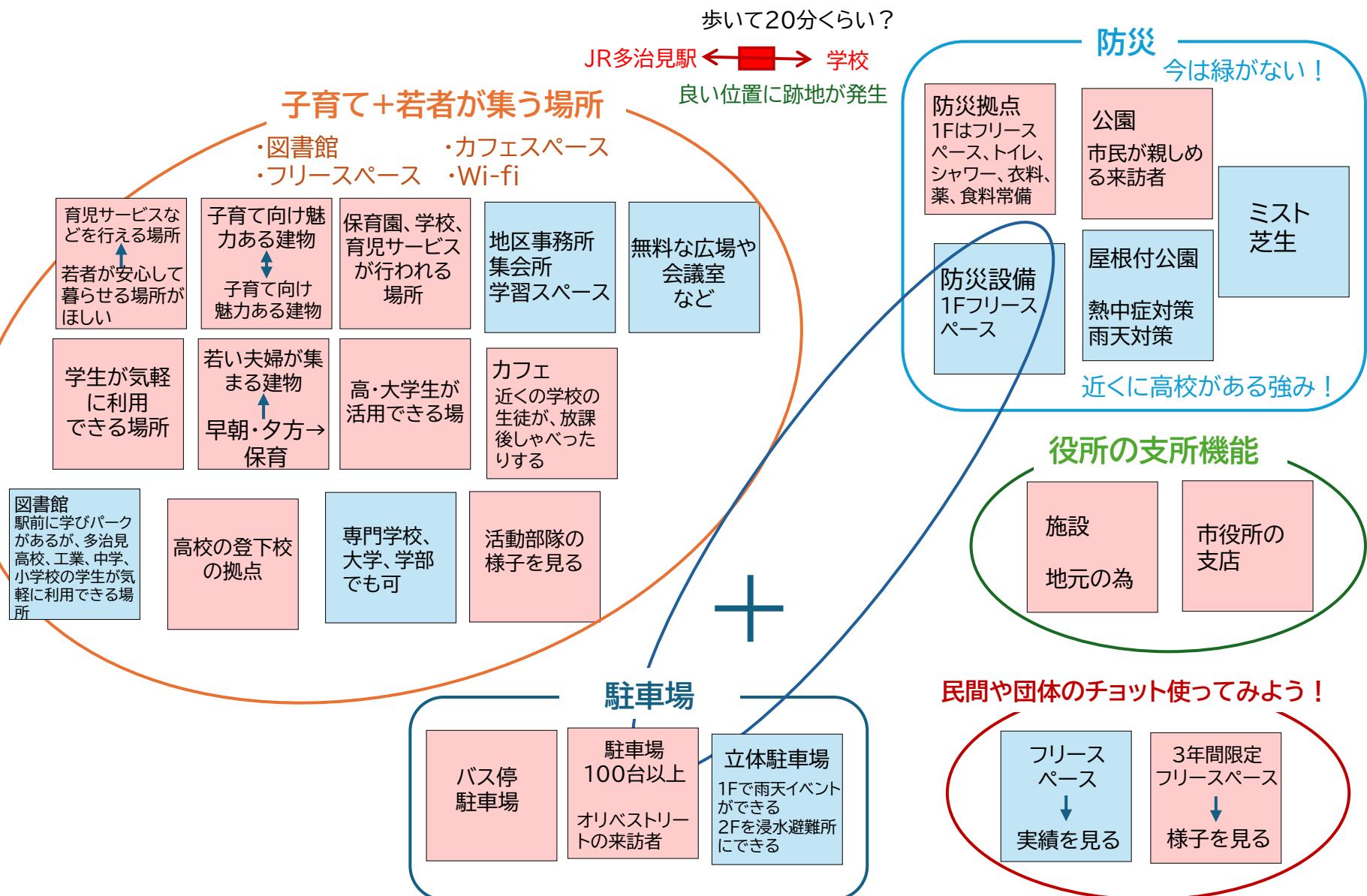
「ファミリー充実」「場所の活用」「多治見のPR」の3点を軸に議論しました。子育て世代から高齢者までが集まる施設や、駅からのアクセス改善、空き店舗の活用、陶器の発信拠点、水辺や広場の整備など、多世代が楽しめる場づくりについてのアイデアが出ました。



Cグループ

キーワード：子育て+若者が集う場所、駐車場、防災施設、役所の支所

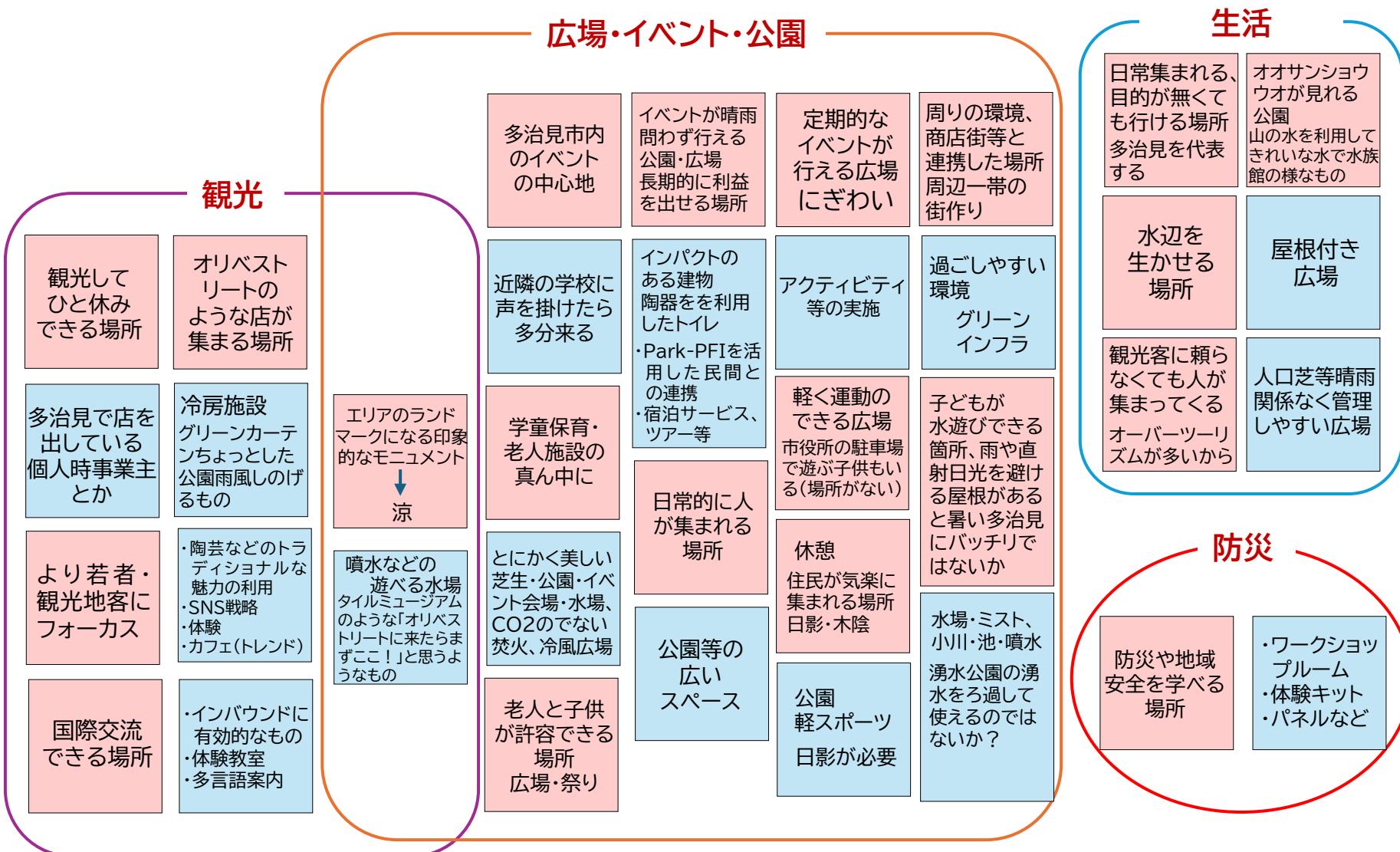
「子育て+若者の居場所」「駐車場」「防災施設」「支所機能」の4点を中心に意見が出ました。学生や子育て世代が集える施設、防災時に活用できる公園、空き店舗の活用、支所的な窓口の設置など、多様な世代と二つに応える場づくりのアイデアが出ました。



Dグループ

キーワード:観光、広場・イベント・公園、生活、防災

「広場・イベント・公園」を中心に、屋根付きの多目的スペースや水辺の活用、民間と連携した出店の仕組みなどが提案されました。観光や防災の視点からも、湧水やレトロな街並みを活かした整備、支所機能の設置など、多様な活用アイデアが出ました。

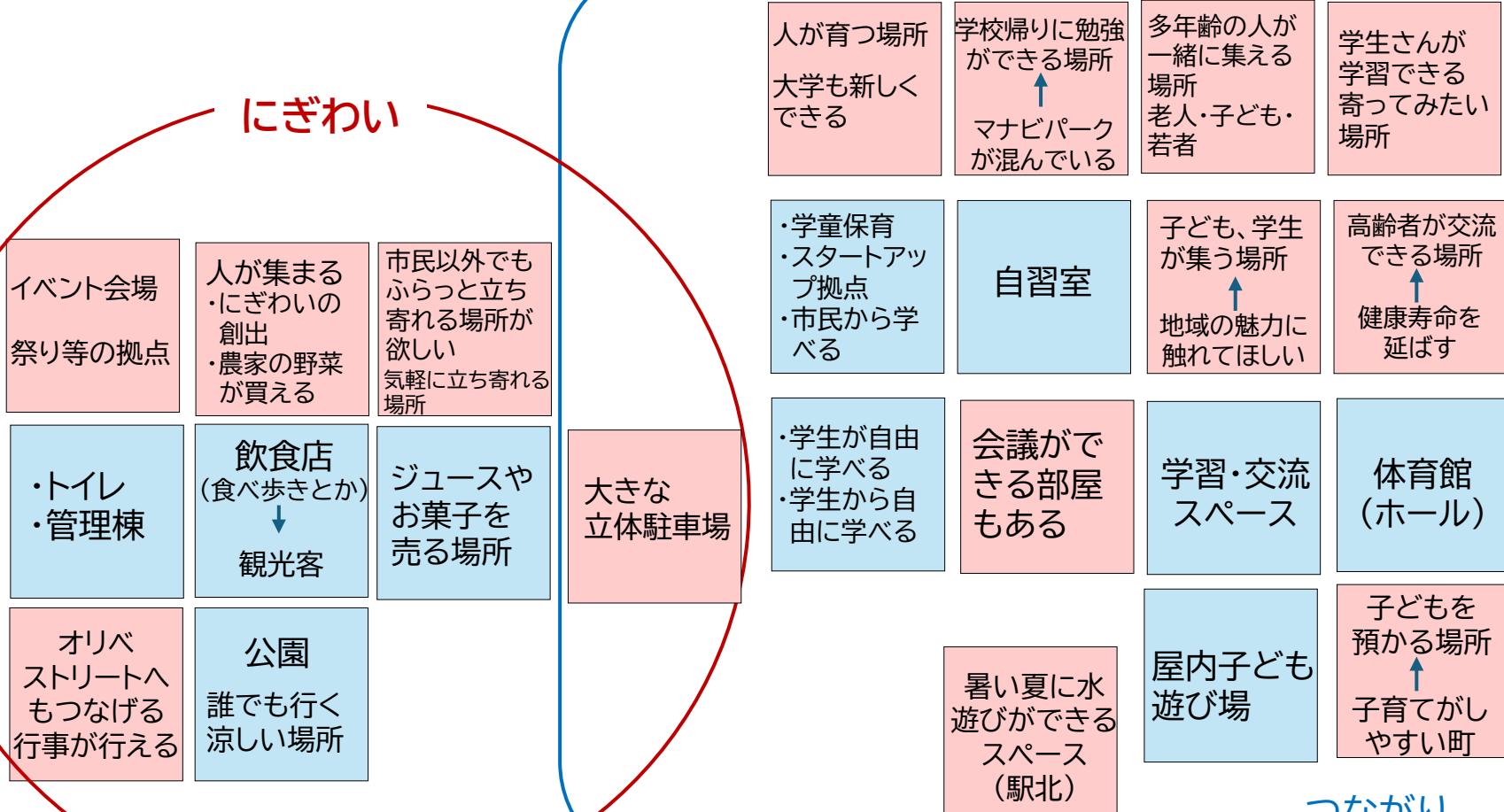


Eグループ

キーワード:にぎわい、暮らし・つながり

「にぎわい」と「暮らし・つながり」の2つの視点から意見が出ました。イベントや直売所などにぎわいを創出しつつ、学びや交流の場、子育て・高齢者支援の機能を備えた複合施設を提案。立体駐車場の整備も含め、多世代が集える場づくりのアイデアが出ました。

暮らし



つながり

Fグループ

キーワード:多目的、健康づくり、子ども遊び、観光受け入れ

「多目的」を軸に、勉強や相談、買い物など多様な用途に対応する施設の必要性が挙がりました。室内での健康づくりや子どもが安心して遊べる場、陶器や自然を活かした観光拠点の整備など、多世代が快適に過ごせる空間づくりのアイデアが出ました。

